

よく晴れた会場にテントのかわりに、テーブルとパラソルが並ぶおしゃれな雰囲気の中、初めてW.Coまつりに参加してきました。風車はリユース食器見本・パネル・チラシを使った宣伝と紙ふうせん、コーヒー販売にリユースカップを利用して、販売のお手伝いもしました。

デポジット方式でのコーヒーの販売は思ったよりスムーズにいき、カップも込みで買うのだと勘違いし「カップはいらないんだけど」と躊躇していた方も、正しく説明すると安心して買っていただきました。普段は、返却されてきた使用済みの食器を洗浄・検品・梱包しているだけですが、実際にお日様の下でいろいろな人

に使われているのを見られたことも良い経験になりました。

途中、飲食してもらうためテーブルをひとつ開放すると、休憩所のようにお客さん同士で会話している様子も見られました。和やかな雰囲気、心が温まりました。

「うちにも手伝いに来たら」と声をかけてもらうなど他のW.Coの方々と交流もありました。皆で協力し合って、呼び込み・ブースを出ての販売・目立たせるためのテーブルの移動など様々な工夫を行っている姿に、W.Co同士の団結力と共に、待っているだけでなくできることを探して積極的に動くことが大事なのだ



東葛エリアのW.Coを中心に参加しました。つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅にあるマルシェの会場で。

と感じました。次回のイベント参加時だけでなく、普段の仕事の中でも心がけていきたいと思えます。

W.Co風車 静野由佳

広がります！事業と運動を載せた配送ワーカーズ

生活クラブ生協千葉の組合員へ消費材を届ける配送業務、東葛地域の柏センターと松戸センターの一部ではワーカーズによる配達ですが、多くは職員から配達されていました。今年3月からは、ワーカーズ配送のなかった京葉地域の千葉、ベイセンター、7月には佐倉センターでもワーカーズによる配送が始まります。

15年目を迎える「(企) わーかーず・あい」

柏センターで15年というキャリアを持つ「(企) わーかーず・あい」は現在軽貨物運送業を取得済みです。社会保障制度などの労働環境の整備なども行い、常に問題意識をもちながら、課題解決に挑戦し、働く場として力をつけています。

現状を維持することにも努力は必要ですが、働く人の状況の変化や委託元の生活クラブ生協の方針に対して柔軟に対応し、協同労働の場としての先を見据えた組織運営を考えています。

外部委託していた牛乳配送を昨年3月からはあいが柏センター管内配送分の全面的委託を受け、冷凍車輛2台と幌付軽トラックを使って、埼玉、茨城の県境までの広域を配達しています。

1歳の誕生日を迎える「(企) ワーカーズ・コレクティブみらい」

(企) ワーカーズ・コレクティブみらい (以下W.Coみらい) も、1月で、松戸での立ち上げから1年が経過し、生協組合員からの認知度も高まりました。メンバー募集に対して応募者も増え、9名から始めたメンバーが、入れ替わりもありながら14名へと増員しています。20代の男性から60代までの多世代が働きながら、安定した業務へと成長しています。今後わーかーず・あいに続き、3月からの松戸センター管内の牛乳全面配送に向け、研修が始まります。

千葉、ベイ、佐倉 メンバー募集中です 2つの事業体で運動を広げる！

千葉の配送ワーカーズは今後、2011年には市原センターへと事業を拡大していく予定です。自主管理自主運営という生活クラブ運動、共に誰もが責任ある立場で働くワーカーズ・コレクティブ運動を、消費材と一緒に載せ、確実な業務と、新しい働き方の提案を目指していきます。

W.Coみらいは組織を拡充再編し、松戸の他に3月からの配達開始予定に向け、千葉、ベイセンターにそれぞれプランチが立ち上がります。現在はそれぞれ5名ずつの立ち上げメンバーが揃いました。ミーティングを行いながら、配達車輛や保険、託児の問題などを話し合っています。さらに、佐倉センターでのプランチ立ち上げに向かって準備が始まっています。

佐倉配送W.Coづくりに向けて

起業講座入門編第2弾として、11月20日(金)にW.Co見学バスツアーが開催されました。佐倉配送ワーカーズ立ち上げを通じて、地域にW.Co運動をさらに広げるために3つのワーカーズの見学を行いました。

雇われない働き方、メンバーが出資者。わかるようでわからない、でもなんだか興味はある。百聞は一見に如かずということで、柏にある惣菜・弁当の「福祉ワーカーズあい」、子育てひろばの「ういず」、配送の「わーかーず・あい」の3カ所を見学し、お昼にはういずのランチを頂きました。佐倉センターでも配送W.Coを立ち上げる予定で、わーかーず・あいは、組合員としてもとても興味がありました。柏センター内での積み込み作業見学の他、子育て世代がメンバーの中心ということで子どもの急病などによる欠勤が出た時の対策やシフト決めの苦労話などを直接聞くことができました。短い時間でしたが、W.Coという魅力的な働き方をする方々に会い、その生き活きた表情に雇われる働き方との違いを実感しました。これからの自分を考える上で、新しい選択肢が1つ増えました。 佐倉・印旛支部リーダー 斉藤理恵子



大勢の力でパーティ料理大成功

昨年11月28日に生活サポートクラブ10周年記念レセプション、年明け早々の1月9日、生活クラブ千葉グループ新年交流会と、120から200人ほどのパーティ料理を受けました。

編集、食器、飲み物、人の手配、全体の流れも考えるトータルコーディネートが必要でした。コーディネートするためには、何度も何度も話し合いを重ねてきましたが、違う業務内容ではあっても各W.Coの普段の様子がよくわかり、W.Co同士お互いをよく知り、また連携することでの新たな事業の可能性を見出し、次の機会へ繋げる足掛かりとなりました。

当日参加した人達だけでなく、事業所で準備をしたり、見えないところで協力してくれたりした大勢の仲間がいればこ

そ、200人のパーティ料理も成功したと思います。

ワーカーズならではの、この団結力があれば、次のステップに向けて、大きな自信とパワーがわいてきますね。おおぜいの参加で1つのことを成し遂げるといった大切なことを実感した1日だったと思います。

共同購買部 部長 藤田美紗

12月運営委員会報告

- ★生活クラブ千葉グループ新年交流会料理受託進捗状況報告
- ★配送ワーカーズ拡充に向けた活動進捗報告
- ★W.Coの日及び展示会ヘリサイクル着物・着物リメイク品の取り扱いについて進捗報告
- ★第1回受託部会開催報告
- ★全国会議in埼玉報告
- ★旭愛農との新規提携について承認
- ★千葉県総合計画策定への要望書の提出を決定



早朝から、各事業所が準備した料理を配送ワーカーズが運び、会場ビルのB1から14Fまでエレベーターで。準備室で盛り付け、バイキング形式で配膳し、様子をみながら補充したり、入れ替えをしたり。私自身、初めての経験でしたが、お料理の評判も良く、手際も良く、合格点はいただけたのではないのでしょうか。

単にお料理をつくるだけでなく、配送、

「みらい」が早朝から各W.Coを回って運んだ27種類の料理。さあ盛り付け開始。



白いテーブルクロスの上の、帯をリメイクしたテーブルセンターが料理に華やきを添えて、準備完了。



*ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) とは…
同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす